

3学期になりましたね！新しい年も「自分を大切に、人を大切に」。そんな願いを込めつつ、2学期に開催した人権講演会の感想を紹介します。

皆さんの感想は、講師のお二人にも（匿名で）届けました。冬休みの間にお返事が届きましたので、最後に紹介します。

## ◎人権講演会「多様な性と自分らしい生き方」ふりかえり

11月22日に開催した講演会。講師は、多賀法華さん、佐藤みどりさんのお二人でした。実は、ふだんは別々に活動をしていらっしゃるお二人。邇摩高校での講演のために、特別にタッグを組んで、事前に幾度も打ち合わせをするなど準備をして臨んでくださいました。

生徒の皆さんからは、まさに「多様な」感想が届けられました。一人一人が、その思いを丁寧に言葉にし、自分ごととして自身を振り返ったり、これからを想像してみたりしている姿が感じられ、こちらの胸にも響くものがありました。



(▲講演会の様子)

この社会をつくっているのは、他にもない私たち一人一人です。多様な他者を尊重し、受け止める。一方で、自分を知り、自分を大切に、自分らしく生きる。今、高校生である皆さんが、大人へと成長していくうえで、この理想を実現し、豊かな社会を築いていってくださることを願ってやみません。

### 皆さんの感想より

☞ お二人共、小さいときに自分の性に違和感を感じてそれから家族にカミングアウトして本来の自分を見つけるまで、すごく大変な思いをしていたんだなと思いました。自分自身はとくに気にしていなかったけれど、施設のトイレや更衣室など身近に使っている場所で人によっては使いつらかったりして悩んでいる人がいることを知り、もっと他にもいろいろあるんだろうなと思いました。

実際に自分の体と心の性が違ったり、周りとはちがうと考えている人にとっては“特別がほしいわけではなく平等が欲しい”という言葉が強く印象に残りました。今の日本の社会は“誰もが平等”、“LGBTは当たり前だ”という言葉や言う人は増えてきたけれど、実際に周りを見てみると建物や人々の受け入れ方にはまだ「カベ」があるんだということに話をきいて気づくことができました。もっとしっかり多様な性について自分で学んでいこうと思いました。

☞ 僕は、多様な性の人たちと関わることが出来ると思います。変なことを思う人は、その人のことをちゃんと知らないと思います。ちゃんと尊重して、しっかりと受け入れたいです。辛いこととかたくさんあると思います。けど、自分は大丈夫だと思ってほしいです。その人の人生はその人が決めないといけませんが、もしそんな人がいるならその人の人生を支えてあげたいです。

⑤ LGBTの方たちが生きにくい世の中である今の日本はまだまだ変わらないといけないし、「普通」の意味を勝手に決めて男はこうあることが普通、女はこうあることが普通というふうに、その「普通」という言葉がLGBTの方や性に悩んでいる人たちをどれだけ苦しめていたんだろうと思いました。今日来てくださった多賀さん、佐藤さんは本当にカッコイイなと思いました。大人数の前でカミングアウトすることがどれだけ勇気のいることで、今日以外でも家族や友人に言うことがどれだけ怖かったんだろうと思うと、本当に尊敬しました。

私は政府の大人にとっても腹立たしく思っています。同姓で結婚ができないということが理解できません。少子高齢化が進んでいるというのも原因の一つなのかもしれないけど政府や大人たちが行動しないで、子どもたちに多様性を大切にしろと言っても無理な話だと思うし、もっと教育の中にももっとこういったことを入れていくべきだと思いました。誰もが認められ尊重される世の中になってほしいです。

⑥ 私たちは特にLGBTQについての偏見の少ない世代だと感じているので、同姓婚などの国の制度がもっと時代に追いついてきたらいいなと思います。「多様な性と自分らしい生き方」というテーマのなかで私がもっとも関心があるのは夫婦別姓です。これも同姓婚と同じように、少数の人に権利が与えられるだけなのに、どうして制度を変えるのをためらうのだろうと不思議に思います。個人の考えが変わっていても制度が変わらなければ、社会全体でみれば変わっていないということになるので、個人を尊重する社会にするには選挙にしっかり参加しなければならないなと思いました。

⑦ 多くの価値観にふれることが大切なんだなと思いました。自分の思い込み、相手の思い込みなど、関わってみると、いいことばかりじゃなくても、新しく気づけること、自分の考えを深めることが、多様な自分らしい生き方を追求していくためには必要不可欠だなと感じました。何が正しくて何が間違っているとか、一つの正解を決めようとするのが全てじゃないと思いました。自分が自分らしく生きれるのが正解で、人の数だけ生き方があって正解があると思いました。

⑧ 改めて生き方・考え方を変える話を聞いてよかった。自分を失わず、こうありたいという姿を大事にして生きることの大切さがわかった。(自分のあり方や考え方を)他人におしつけるだけでは理解してもらえないことがあるから、お互いの多様性を共有することも大切だと考えた。

⑨ 私は、もっと誰でも生きられやすい環境が広がってほしいと思います。人の数ほど考えもあるから私の意見を押しつけたくはないけど否定はしてほしくないと思うのが私の意見です。自分が男の子みたいな髪型をしたら母にあまりよく思われませんでした。私が女であるから変だと否定され正直悲しかったです。好きなことをしているだけなのに色んな考えがあることは分かっているけど私は私なのだから受け入れて欲しいと感じたことを思い出しました。

正直、自分が分からない時があります。素の自分もきかざった自分もどちらも自分であることはまちがいないけどもっと自分をだせる、胸をはって自分のことが好きだと思えるように自分らしく生きられるよう向かい合う時間をとってほしいと思います。

---

このほか、講師の方の生き方と自分自身の生き方を重ねながら、その思いや訴えを言葉にしてくれた人や、これからの生き方について、力強く宣言してくれた人もありました。

感想を読んで、あなたは何を感じましたか…？



(▶裏面あり)

## ◆佐藤みどりさんから 生徒の皆さんへ

まず、たくさんの感想をいただいたことに感謝します。内容として、きっと書くのにためらったものもあったんじゃないかと思います。素直な気持ちをしっかり伝えてくださり、ありがとうございました。

「多様な人がいるから未来が明るくなる」という言葉を聞いて、すごくいいなと思いました。本当にそのとおりで、みんなが同じであれば世界はこんなに面白くないと思います。パズルのように、それぞれがひとつの大事なピースです。短所は凹んだところ、長所が出っ張ったところで、自分に足りないところは他の人と補い合うからこそ大きな絵が完成できるんだと思います。

今の日本社会は、まだまだ「みんな同じがいい」という風潮があり、生きづらさを抱える人も多いと思います。そうではなくて「みんな違うのがいい」という考えの人が増えていくといいですよ。この考えを持つ人が増えれば、まずは自分のことを認められる人が増えると思います。そして、それが出来てはじめて人のことまで認められる人が増えていくんだと思います。

「普通の反対はもうひとつの普通」をキーワードに、みんなが普通だと認め合える社会を築いていきましょう。

「自分らしくいること」と「自由でいること」は違うか」という問いかけがありました。自分らしいと自由の違いに正解はないと思います。その前提で、私の答えを伝えます。

まず、自分らしいというのは、「自分の人生に集中して生きること」だと思っています。自分の幸せは何なのか、それを知ったうえで、他の人と比較せず、意見に惑わされずに進んでいくことです。そして、自分らしく生きる上で大事なものは自分勝手との違いです。

その違いは、「迷惑をかけるか」、「責任が取れるか」だと思っています。周りに迷惑をかけてまで実現する自分らしさは身勝手だと思っています。そして、自分らしく生きるためには、その道を進む責任があるとも思います。

ただ、これをいうと「学生なら反対をされたら終わりか」ということを思うかもしれません。でもそうではないと思います。反対＝迷惑ではないので。どうしてそうしたいのか、自分の幸せにとってどうしてそれが必要なのか、反対している人に話をして、お互いに理解できるように努力することが必要だと思います。

自由とはなにか。それは自分らしさを追究した先に見える状態なのかなと思います。何にも縛られず、自分の人生を愛せる状態。それが自由。

「自分らしさ」、「自由」の定義は、国語辞典で調べたらでてくるでしょう。でも、本当はそれぞれに答えがあっていいと思います。あなたの中での「自分らしさ」、「自由」とはどんなことなのか。一度考えてみるといいかもしれません。



## ◆多賀<sup>のりか</sup>法華さんから 生徒の皆さんへ

性の多様性のお話をして、もちろん性的マイノリティのことを知ってもらいたかったけれど、それ以上に伝えたかったことは、ありきたりの言葉であまり好きではないし、言葉にするとなんだか薄っぺらく感じてしまう自分がいてしまうけど「1人1人が宝である」ということでした。

こんな一説があります。

地球46億年の歴史を1日24時間とおきかえてみる。地球誕生を午前0時とすると、生き物が爆発的に増えたのが、約5億年前。21時24分。恐竜が地球の王だった頃、約1億年前。23時29分。日本列島が形成されたのが、約2000万年前。23時54分。人類の誕生は約650万年前。23時57分43秒。今の人類の祖先が誕生したのは、約20万年前、23時59分56秒。

たったの4秒。この4秒が人類の歴史の積み重ね。日本の歴史が始まったのは、4万年前。わずか、0.75秒前。

その中で、めちゃめちゃたくさんのヒト、モノ、コトが出会ったり出会わなかったりして奇跡的に存在しているのが、私たち1人1人です。そして、自分と同じ人はそれまでも存在せず、その後も生まれてこない唯一無二の大切な自分です。もう二度と同じ自分は生まれてきません。変えることができないかけがえのない存在です。

灯火は、社会のルールや大人がいうことの中にあるのではなく、自分の中にあることを大事にして欲しいと私は思います。自分の人生において自分が主役と真に分かった人は相手も相手の人生の主役であることが分かります。

心と言葉と表現と尊厳が失われない社会になることを私は望みます。

感想を見せてもらってそうした意図をくみとってもらえたと、嬉しく思いました。本当にありがとうございました。

※当日の様子は  
【邇摩高校ホームページ】  
にも掲載しています！

▶右のバーコードを  
読み取ることで、  
ホームページの記事に  
ジャンプできます！



邇摩高校ホームページ  
『人権講演会』開催報告



(▲左:多賀法華さん、右:佐藤みどりさん)



＜この便りは持ち帰り、家庭等で「人権」について語り合うきっかけにしてください。人権教育推進スタッフ：森脇＞